

## 第2学年特別活動学習指導案

日時：平成24年9月28日（金）5校時

学級：男子12名 女子13名 計25名

授業者：岡本信

1 題材名 働くことを通してこれからの自分を考えよう

### 2 題材について

#### (1) 教材について

中学校特別活動の目標は、「望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。」である。

特別活動の目標である、社会の一員としてよりよい生活を築くための実践的な態度を育てるために、8月の宿泊研修では、特産物の販売活動でふるさと普代を発信する仕事を実際に体験し、盛岡市内での班別自主研修では職場訪問を行い、働くことについて学んできた。また、事後学習では、それらの活動から、大人になった自分の将来像を考え進路について考えた。

本教材では、宿泊研修前にそれぞれが考えていた働くことの意義と、研修後に考えた働くことの意義の変容を比較し、将来子どもたちが直面するであろう様々な課題に柔軟かつたくましく対応し、社会人、職業人として自立していくことを目指したキャリア教育における勤労観の育成を中心にすえ、進路について考える契機としたい。

#### (2) 生徒について

生徒たちは、宿泊研修における販売活動に向けて、学級を一つの会社に見立て、ふるさと普代の特産物として何をどのように販売すれば、効果的か考え実践した。自分たちで考えたラジオ出演等のマスコミを活用しての宣伝活動やポップ製作、商品陳列のレイアウトの計画といった事前準備。また実際の販売活動と事後学習における成果と課題の検証を通して、勤労の楽しさや喜びとともに、その苦労を体感した。また、班別自主研修における職場訪問では、県都盛岡で働く人々の様子や職業人の生の声を聞いてきた。このように、能動的な活動を通して働くことについて学習し意識を高めている。

#### (3) 指導にあたって

中学2年生になりちょうど半年。中学校生活全体からみても折り返し地点である今。生徒会活動でも間もなくリーダー学年となり先輩から普代中の舵取りを任される状況にある。将来の自分と中学生である今の自分は別物ではなく、今の自分の延長線上に将来の自分があるのである。そのことに気付かせながら、働くことについての学習を通して学んだことをこれからの生活につなげさせたい。本時においては、宿泊研修における販売活動や職場訪問からの学びをもとに、働く意義について再考することで勤労に対する考えをより確かなものとなるよう指導にあたりたい。

### 3 題材の目標と評価規準

#### (1) 目標

○職業の多様性について理解し、自分なりに働くことの意義を考えることができる。

#### (2) 評価規準

	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
評価規準	販売体験や職場訪問の学びをいかして働く意義や将来について考えている。	販売体験や職場訪問を通して働くことの重要性や大切さを考えている。	自分の班と他の班の職場訪問の様子を比較しながら多様性に気付いている。

### 4 題材の指導・評価計画（3時間扱い）

※「キャリア」の欄は「勤労観・職業観」「豊かな人間性」に関わる項目があれば記載

時間	目標	評価規準	関 意 態	思 判 実	知 理	キ ャ リ ア
1	○職場訪問の振り返りを通して、職業の多様性について理解できる。	・自分の班と他の班の職場訪問の様子を比較しながら多様性に気付いている。			○	
2	○働くことや職業についての学習を自分の将来と照らし合わせながら取り組むことができる。	・販売体験や職場訪問の学びをいかして将来について考えている。	○			
3 本 時	○自分なりに働くことの意義を考えることができる。	・宿泊研修での販売体験や職場訪問を通して働くことの重要性や大切さを考えている。		○		勤

### 5 本時の指導

#### (1) 目標

○自分なりに働くことの意義を考えることができる。

#### (2) 評価規準と手立て

	満足できる	「満足できる」に満たない生徒への手立て
思 判 実	販売体験や職場訪問を通して働くことの重要性や大切さを考えている。	宿泊研修のまとめ等の資料を提示するなどして考えさせる。

### (3) キャリアの視点

<p>キャリアの力：◎人生設計力 ○勤労観・職業観</p> <p>「働くことの意義を考える」</p> <p>キャリアのねらい:それまで未知の世界であった働くことを販売体験や職場訪問を通して体験することで、気づいたり感じたりした働くことの意義を振り返る。</p> <p>本時の指導では、働くことの意義について、宿泊研修前に取っておいたアンケート結果と研修後のアンケート結果を比較し、その変容の要因や研修での体験について話し合うことを通して、「自分は何のために働きたいのか」という勤労観をより深く育成できるようにしていきたい。</p>
---

### (4) 展開

段階	学 習 内 容	学 習 活 動	指導上の留意点 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">キャリアとの関連</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評価</span>
導入 5分	1 本時の課題と学習内容を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>働く意義について考え、それを交流する活動であることを確かめる。</li> </ul>	
	なぜ、人は働くのだろう		
展開 35分	2 働く意義を個人で考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分なりの働くことの意義を記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動が停滞しないよう、宿泊研修のまとめを自由に見ながら記入するよう促す。</li> </ul>
	3 自分の考えた働く意義をグループ内で発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が書いたものを発表する。</li> <li>友だちの発表について、質問をしたり感想を伝えたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メモをとりながら聞くように指示し、質問や感想がスムーズに出るようにする。</li> </ul>
	4 宿泊研修前に考えた働くことの意義と比較する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿泊研修前のデータと現在の自分の考えを比較する。</li> </ul>	

	<p>5 友だちの発表や宿泊研修前のデータと比較しながら再考する。</p>	<p>・グループ内での話し合いと宿泊研修前のデータとの比較から、再考し考えをまとめて記入する。</p>	<p>・話し合いや宿泊研修前のデータと比較しながら、働くことの意義を考えることができる。</p> <p><b>【思考・判断・実践】</b></p> <p>キャリアとの関連 話し合いや宿泊研修前のデータと比較しながら、働くことの意義を考える。</p>
<p>終末 10分</p>	<p>6 再考した内容を発表し、学習のまとめをする。</p>	<p>・指名された生徒は、まとめた内容を発表する。</p>	

(5) 板書計画

なぜ、人は働くのだろう

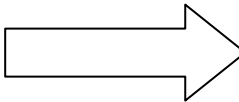
販売体験前

○○志向＝○%

○○志向＝○%

○○志向＝○%

○○志向＝○%



販売体験後

みんなの考え

- ・○○○○のため ○人
- ・○○○○のため ○人
- ・○○○○のため ○人
- ・○○○○のため ○人